

厚生労働省
推薦

文部科学省選定
(青年・成人・家庭向き)

内閣府
後援

あなたの瞳、きらきらしとる！

咲心

emul

主演：藤田菜々子

島 かわり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏
鈴 まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 蛾次郎 丘 みつ子

脚本・翻訳・監督：早瀬 憲太郎 製作：一般財団法人全日本ろうあ連盟

製作総指揮：石野 富志三郎 プロデューサー：久松 三二 新井 英夫

音楽：小林 洋平 撮影：猪本 雅三(JSC) 照明：奥村 誠 録音：郡 弘道 美術：津留 啓亮 装飾：平川 泰光

編集：山崎 梓 スクリプター：吉田 久美子 ラインプロデューサー：武田 千明 制作担当：富田 政男

衣裳：宮本 まさ江ヘアメイク：オオクボ エミコ スチール：田中 敦美 制作プロダクション：株式会社ターゲット

エンディング曲・歌：夏川 りみ 題字：金澤 翔子

後援 手話を広める知事の会／
全国手話言語市区長会

助成 公益社団法人企業メセナ協議会
2021芸術・文化による社会創造ファンド

全日本
ろうあ連盟
創立70周年
記念映画

咲む emu

題字：金澤翔子

物事を始める
チャンスは
私は逃さない

Story [ストーリー]

看護師国家試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から思わぬ仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていく。そして、村も大きく変わっていく…。



Commentary [コメンタリー]

全日本ろうあ連盟、初の製作映画『ゆずり葉』(2009年)は、上映会場750か所、上映回数1250回、動員40万人を突破し、各界から大きな反響を得た。前作から十年余り、国連障害者権利条約の批准を契機にろう者の言葉である「手話言語」が認知され、各地で手話言語条例が広がり、教育、司法、医療など、各分野で活躍するろう者も増え、ろう者や手話言語について社会の理解が進んでいる。しかし、「きこえない、きこえにくい」ということによる社会の障壁、差別、偏見はなくなったわけではなく、目まぐるしく変わる社会情勢による新たな問題も生まれ、課題は多く残っている。2017年に創立70周年を迎えた連盟は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、再び映画製作に挑戦した。映画『咲む(えむ)』は、一人の若きろうの女性を通して、喜びや葛藤の中で生き、

様々な障壁を乗り越えていく姿から、「ろう者」とは「きこえない」とは何かということ、そして、「手話言語」は魅力的で素晴らしい言葉であること、ろう者独自の文化を市民に広く伝え、ろうの子どもたち、また若いろう者、家族等に幅広く夢を与えていくことをコンセプトに製作した。

脚本・監督は『ゆずり葉』に続き早瀬憲太郎。これまでの経験を活かし、きこえる俳優・スタッフと見事に連携し、新たなエンターテインメントを創りあげた。主人公の瑞月役を、NHK「中学生日記」に出演した藤田菜々子(ろう者)が熱演。彼女を見守る家族に高島良宏、鈴まみのろう俳優。村で瑞月を迎えるのは、島かおり、丘みつ子、佐藤蛾次郎など素晴らしい俳優陣。盲ろう者やほかの障害のある人たちも出演する映画『咲む』は、観る人すべての人を笑顔にする。



藤田 菜々子 島 かおり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏 鈴 まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 蛾次郎 丘 みつ子

脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫 音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：郡弘道 美術：津留啓亮
装飾：平川泰光 編集：山崎梓 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男 衣装：宮本まさ江 ヘアメイク：オオクボエミ
制作プロダクション：株式会社ターゲット アドバイザー：山本おさむ 中橋真紀人 手話言語監修：高塚稔 木村晴美

【2020年/115分/日本手話言語/日本語字幕/音声ガイド(UDCast対応)】



映画に関するお問い合わせ ▶▶▶ 一般財団法人全日本ろうあ連盟

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 E-mail: movie@jfd.or.jp
TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 URL: https://www.emu-movie.jp

UDCast対応

